

〇「諫早市過疎地域の持続的発展市町村計画」達成状況の評価

※計画期間:令和3年度～令和7年度

〈分野別目標達成状況等〉

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	これまでの達成状況と効果、今後の計画や取組方針	数的根拠等
2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	移住定住支援事業による移住件数	4件	25件 (期間中)	4件	新生活支援補助金について、令和3年度から小長井地域において新しく生活をスタートさせる世帯への補助額を嵩上げ。令和4年度から補助対象世帯の要件を緩和するとともに、その他世帯(単身世帯)への補助区分を追加することで、小長井地域への移住促進を強化。	令和3年度補助実績:4世帯(14人)
	地域おこし人材の活用	—	3人 (期間中)	0人	令和4年度に地域おこし協力隊を2人配置し、小長井地域の地域資源を活かした活性化を図る。	令和4年10月1日:2人配置 (予定任期:令和7年9月30日)
3 産業の振興	認定農業者数の維持	47経営体数	47経営体数	49経営体	令和3年度に4経営体の認定を更新し、2経営体の新規認定を行った。	更新:4経営体(個人2・法人2) 新規:2経営体(個人1・法人1)
	集落営農法人数の維持	1法人	1法人	1法人	農地中間管理事業を活用し、大豆、麦等の土地利用型作物、キャベツ等の園芸作物を栽培しており、引き続き地域農業の担い手を維持していくため、交付金等の活用についての支援を行う。	農事組合法人 柳新田(H28.6.8設立)
	農作物出荷数(輪菊)	832.8千本	1,242千本	1,311.4千本	新型コロナウイルスの影響対策として行っていた厳選出荷を緩和したことから、出荷数量は増加した。今後は、スマート機材の導入による、省力化及び生産性向上を図り、地域農業の経営安定化に向けて取組む。	JAながさき県央きく部会及び諫早匠の菊出荷組合R3年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	農作物出荷数(みかん)	536.9t	675t	478.8t	隔年結果や高齢化等による廃園のため、減収となった。今後は、地域の中心的な担い手への集約や省力化機械等の導入を行い、樹園地の維持・拡大を行うとともに、隔年結果是正に向けた栽培管理を徹底し、地域農業の経営安定化を図り、活性化に向けて取組む。	JAながさき県央みかん部会R3年産実績 (小長井地域生産者抜粋)
	冷凍保管施設整備	1棟	2棟	2棟	コロナ禍における水産物対策として、諫早湾漁協が行う冷凍保管施設の整備を支援し、汎用性の高い冷凍品や付加価値の高い加工品の製造を可能とすることで、漁業者の所得向上を図った。	令和3年度 諫早湾漁協冷凍保管施設整備 (2階建) 1棟
	改良型鋼製力キ養殖筏整備	3基	4基	4基	諫早湾漁協が行う波浪に対する耐久性や作業の安定性を高めた改良型鋼製力キ筏の導入を支援することで、小長井地域の更なる力キ養殖の産地化及び漁業経営の安定化を図った。令和4年度も鋼製筏1基の整備が予定されている。	令和3年度 諫早湾漁協改良型力キ養殖筏整備 1基
	諫早湾漁協正組合員数の維持	91人	91人	82人	漁業者の高齢化による組合員の減少が進んでおり、今後の持続的な漁業生産と漁村活力の向上を図るため、諫早市漁業担い手確保計画に基づき、新規漁業就業者の確保育成を推進する。	諫早湾漁協組合員数(小長井本所分) 正組合員120人(82人) 准組合員 34人(7人) 合計 154人(89人)
	山茶花高原来園者数	99,232人	150,000人	125,382人	コロナ禍の中、屋外施設の強みを活かし、案内板や遊具などの改修を行うことにより、来園者の増加へつなげることができた。今後、改修計画の精査を行い、より効果的な施策を取り入れることで、更なる交流人口拡大を目指す。	案内板改修 N=7箇所 観覧車窓改修 N=12箇所
4 地域における情報化	高速ブロードバンドサービス加入世帯率	66%	69%	70%	これまで市が所有していた小長井地域ケーブルテレビ施設を民間ケーブルテレビ事業者へ譲与し、光通信サービスに対応できる通信施設への更新事業を市が財政支援し、令和3年度末までに完了した。 これにより小長井地域全域において超高速ブロードバンドサービスの加入ができ、加入数も順調に伸びている。	CATV・インターネット加入者 R2:1,199/1,824世帯(66%) R3:1,211/1,721世帯(70%)
	公衆無線LAN(Wi-Fi環境)の整備箇所	—	2か所	0か所	小長井支所については、令和4年度に整備予定。	—

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	これまでの達成状況と効果、今後の計画や取組方針	数的根拠等
5 交通施設の整備、交通手段の確保	市道出口平床線道路改良工事整備率	68%	92%	78.7%	現在まで、道路改良工事 R3までに120m 完了 今後計画、道路改良工事 R4 L=20m 完了予定	事業費ベースの進捗率
	市道城崎船津線道路改良工事整備率	48%	68%	87.6%	現在まで、道路改良工事 R3までに120m 完了 今後計画、道路改良工事 R4から L=40m 完了予定	事業費ベースの進捗率
	市道陸橋線(徳ヶ頭橋)橋梁架替工事整備率	12%	100%	12.0%	現在まで、概略設計 今後計画、詳細設計、工事	事業費ベースの進捗率
	市道風生鬼塚線(無名橋4)橋梁架替工事整備率	-	29%	-	今後計画、概略設計、詳細設計、工事	事業費ベースの進捗率
6 生活環境の整備	管路の耐震化率(水道施設)	13.9%	19.0%	14.2%	小長井地域において、老朽化している配水管を耐震管により敷設替えを行い、水道水の安定供給を図った。今後も老朽管の敷設替えを継続し、水道水の安定供給を図る。	遠竹地区配水管敷設替工事(R3-1工区) 工事延長 L=295m 耐震化率 11.8km/82.9km=14.2%
	接続率(下水処理施設3事業)	69.46%	75.00%	70.60%	小長井地域の下水処理施設(特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業)については整備を完了している。今後も接続率の向上を図るため、専属の接続推進員による戸別訪問を実施する。	R3接続率内訳 特定環境保全公共下水道 70.23% 農業集落排水事業(遠竹) 75.16% " (田原) 68.75%
	消防ポンプ車の配備数	0台	1台	0台	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うための組織再編に取り組んでいる。組織再編の状況に応じて整備を実施する方針である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編予定
	分団研修所の整備数	7か所	8か所	7か所	消防団員数の減少傾向に歯止めがかからない状況であるため、消防団活動を円滑に行うための組織再編に取り組んでいる。組織再編の状況に応じて整備を実施する方針である。	R5年度組織再編 ・7箇分団 → 1箇分団7部に再編予定
	避難所の自家発電装置整備	0か所	1か所	0か所	非常用電源の設置にあたり、設置する広域避難所や施設の状況を踏まえた設計等が必要であるため、施設所管課(生涯学習課)と協議を実施。 この結果を踏まえ、設計・設置工事を行う方針である。	設置候補施設:小長井文化ホール
7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	放課後児童クラブ数の維持	3クラブ	3クラブ	3クラブ	小長井地域には現在3施設の放課後児童クラブ(学童クラブ)が設置されている。今後も利用希望者のニーズ量に対して適切に対応していく。	R3実績 3小学校区 3施設 登録児童数 54人
	ふれあいいきいきサロン数の維持	16か所	16か所	16か所	諫早市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、自主的な集いの場や介護予防活動への支援として、ふれあいいきいきサロンの活動に対し補助金を交付しており、令和3年度は目標値である小長井地区のサロン数16か所を維持できた。今後も開催費補助に加え、介護予防活動への支援や、東部地域包括支援センターに設置している第2層生活支援コーディネーターとの連携を通して、サロン活動への支援を継続していく。	R3補助実績 補助対象サロン:16サロン 延べ開催数: 105回 延べ参加者数: 689人
	地域活動センターの活動等の推進による地域生活支援	2,209人 (延べ利用者数)	2,500人 (延べ利用者数)	2,213人	障害者等の自立と社会参加の促進を図り、創作的活動や生産活動の機会の提供をおこなった。	小長井町に所在する事業所「ありあけ」の実績値
	タクシー料金助成での外出支援による障害者の社会参加促進	17人 (利用者数)	20人 (利用者数)	13人	コロナ禍により利用者数は減少しているが、障害者の社会参加に寄与した。	福祉タクシーチケット申し込み者で、小長井地域に住所がある方の実績

持続的発展 施策区分	目標内容	基準値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	令和3年度 達成状況	これまでの達成状況と効果、今後の計画や取組方針	数的根拠等
8 医療の確保	医療体制の維持	病院3か所 歯科診療所2か 所	病院3か所 歯科診療所2か 所	病院3か所 歯科診療所2か 所	住民が安心して日常生活が営まれるよう、県央医療圏域内及び市内の医療機関と連携し、医療体制の確保が図られた。今後も引き続き医療体制の維持に務める。	病院3か所 歯科診療所2か所
9 教育の振興	小中学校屋内運動場 照明設備LED化	2校 (令和2年)	3校	3校	令和3年度に小長井中学校の屋内運動場照明設備の改修(落下防止及びLED化)を実施し、防災機能の強化及び利便性が向上した。	R3工事実績:小長井中学校(1校)
	小長井文化ホール利用者数	15,197人 (令和2年まで の5年平均)	17,000人	12,475人 (令和3年まで の5年平均)	新型コロナウイルス感染拡大が始まる令和元年度までは例年、概ね基準値の利用者数を達成しており、市民の芸術文化の向上と生涯学習の推進に寄与しているが、令和2年度と3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により目標値を下回る結果となった。施設の老朽化も顕著となっており、個別施設計画に基づく施設の維持管理を行いながら貸館事業を推進すると共に、魅力ある公民館講座の開催に努め、利用者数の増に繋げていく。	【利用者数の推移:過去5年度分】 (令和3年度) 6,416人 (令和2年度) 7,958人 (令和元年度) 16,265人 (平成30年度) 15,067人 (平成29年度) 16,667人
	小長井図書室利用者数及び貸出冊数	3,862人 17,531冊 (令和2年まで の5年平均)	4,500人 21,000冊	4,442人 25,917冊	小長井地域の小中学校やこども園や保育園、公民館などと連携しておはなし会を引き続き行う。地域の小中高生からティーンズスタッフを採用した。今後、読書スペースの確保や視聴覚機器の改修を検討する。	小長井図書室ティーンズスタッフの採用 (R4.10現在 8名)
10 集落の整備	自治会数の維持	7自治会	7自治会	7自治会	7自治会及び地域運営協議会の活動を支援するため、自治組織事業補助や地域づくり協働事業など各種事業を実施。引き続き地域住民の主体的、自立的活動の活性化に結びつくよう、地域コミュニティ活動の支援を行い維持発展を図る。	R4自治会長名簿(R4.4.1時点):7自治会
11 地域文化の振興	郷土芸能保存伝承団体数の維持	5団体	5団体	5団体	令和3年度は、2団体が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を中止されたが、3団体に対し道具の修繕等に対して補助を行うことで活動を支援した。うち1団体は民間団体の助成制度を併せて活用している。今後も継続して直接補助または他の助成制度の周知等により活動を支援していく。	R3補助対象団体:5団体 (ただしコロナ活動中止に伴い補助金交付実績は3団体)
12 再生可能エネルギー の利用の促進	山茶花高原風力発電(風車)施設の 維持	2基	2基	2基	風力発電施設の遠隔操作システムや機器の改修を行うことにより、山茶花高原での再生利用電力量の確保ができた。今後は風力発電施設を維持しながらも、新たな再生可能エネルギーの活用も検討し、効率的なエネルギーの確保を図る。	R2山茶花高原再利用電力量114,949KW R3山茶花高原再利用電力量111,524KW

〈分野別目標達成状況の検証〉

計画初年度である令和3年度の分野別目標達成状況については、大部分の事業に着手し、既に達成したものがあある等、おおむね順調に進んでいる。
令和3年度未着手事業については、次年度以降、早期の着手が見込まれており、計画最終年度の目標達成に向け、進捗中のものと併せ、実施状況の把握を行っていく。
なお、既に目標値を達成した事業についても、その効果について引き続き検証を行っていく。